

5. 国際的な温暖化対策への貢献

【IPP事業の展開を通じたCO₂排出抑制への寄与】

ベトナム、フィリピンなどにおける天然ガスを利用した高効率の火力発電や、中国における風力発電など、アジア地域を中心にIPP事業を展開しており、国内のみならず、海外においてもCO₂排出抑制に寄与しています。

2017年3月には、世界最大規模の地熱IPPプロジェクトとして、サルーラ地熱発電所初号機(10.6万kW)が営業運転を開始しました。建設を進めている、第2号機(2017年営業運転開始予定)と第3号機(2018年営業運転開始予定)を含めると、発電所の最終的な総出力は約32万kWになる予定です。

社外ステークホルダーのご意見
社会貢献として、新興国への展開は効果が高い
P.26
国際的な温暖化対策への貢献



サルーラ地熱発電所初号機の全景

【IPP事業によるCO₂排出量抑制】

海外での高効率火力発電所や、風力発電所の運転(6か国、7プロジェクト^{*1}:持分出力150万kW)による2014年度のCO₂排出抑制への寄与は、約38万トン^{*2}と試算されます。これは、当社の国内におけるCO₂排出量の約0.8%に相当します。

※1:IPP事業:6プロジェクト・一般電気事業:1プロジェクト

※2:当該国のCO₂排出係数は、「CO₂ EMISSIONS FROM FUEL COMBUSTION 2016 EDITION (IEA)」に記載の値を用いて試算(掲載の最新データが2014年のため、2014年実績で算出)。

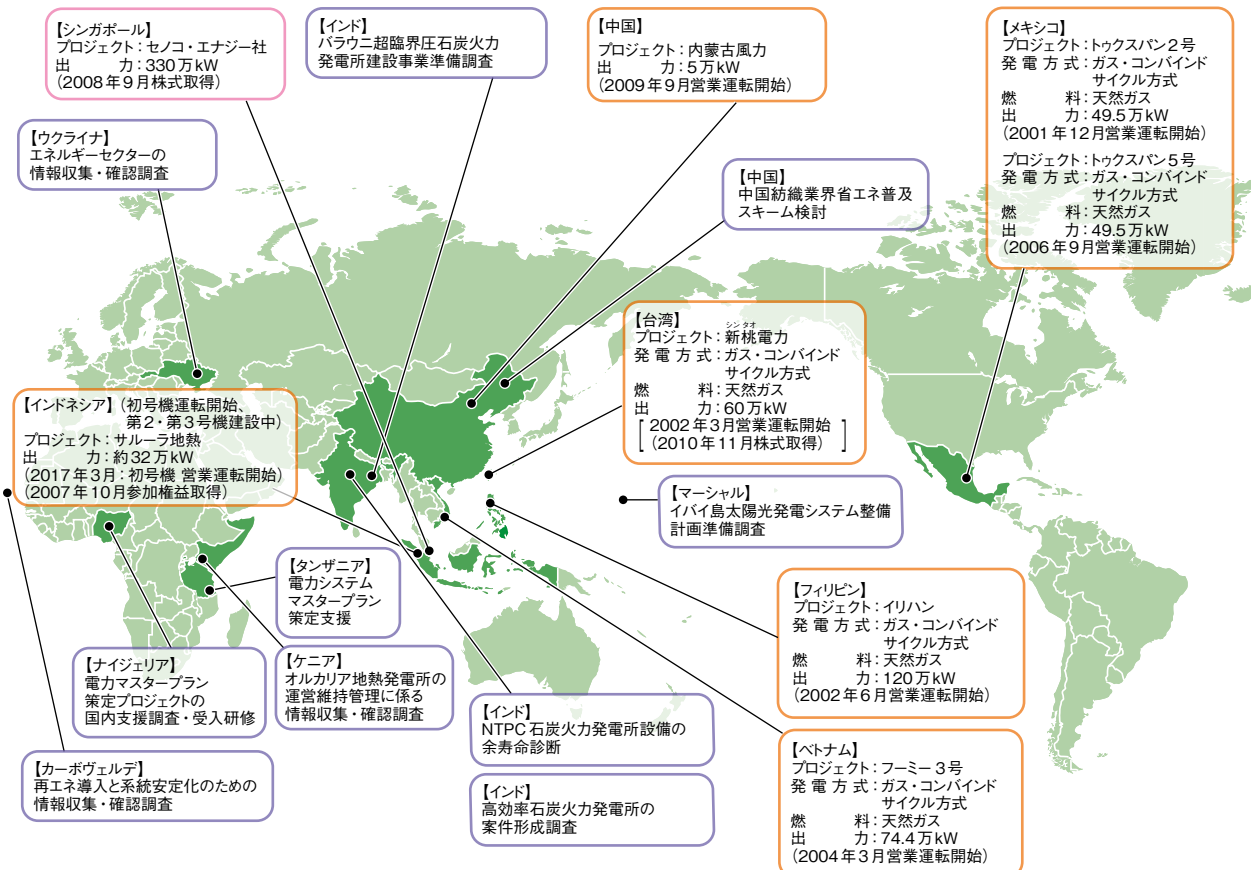
【九電グループの技術・ノウハウを活かした海外コンサルティング】

国内外の電気事業で培った九電グループの技術・ノウハウを活かし、電力基本計画の策定や、発電・送変電・省エネ・環境などの海外コンサルティングに積極的に取り組み、各国の電力の安定供給や環境改善、人材育成に貢献しています。

2016年度は、太平洋中西部に位置するマーシャル諸島のイバイ島への太陽光発電システム導入に向けた調査やケニアの地熱発電所の運営に係る調査を行いました。

海外での事業展開(2016年度)

■ IPP事業 □ 一般電気事業 □ コンサルティング事業



用語集をご覧ください

● IPP(独立系発電事業者)